

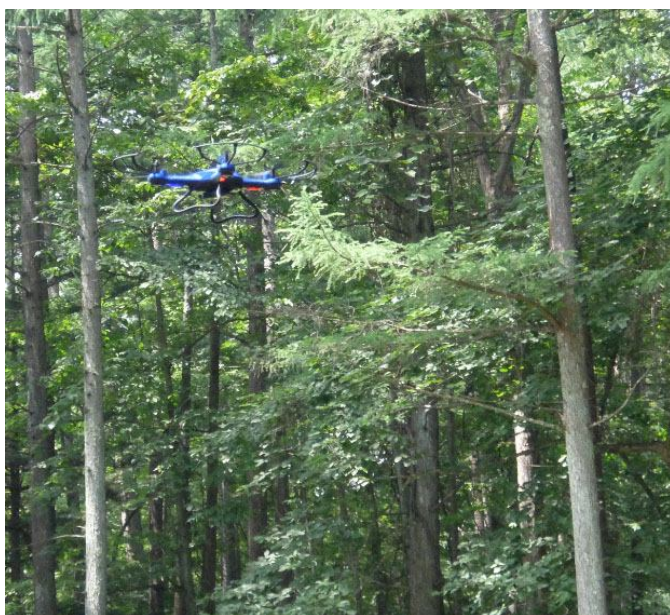
「ドローンの飛行試験(3)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

7月～8月に、「簡易ドローン」の飛行試験を行った。分類上は玩具(ラジコン)で、航空法の制限はほとんど受けないので、飛行許可をとる必要もない。



場所は、北軽井沢にある、私の山荘の裏庭である。操作は簡単で、子どもでもできる。前は地面から離陸させてあまりうまくいかなかったので、今回は栗の樹の切り株の上から離陸させてみることにした。



機体は規制ギリギリの199gと軽いので、回転翼の回転数を上げると、フワッと垂直に上昇する。しかし軽い分、風の影響を受けやすい。本来は室内(体育館のような場所)か、屋外でもほぼ無風の状態で飛ばすのが望ましい。この日も少し北風があったので、まっすぐには上昇せず、南に振られていた。



この簡易ドローンに搭載されたカメラは、高解像度ではなく、しかもジャイロもないので、画像がかなり揺れる。それでも、普段は見ることのできない上空からの森の写真を、動画や静止画で撮影できた。



森に舞うドローンは面白い。しかし、少し高度が上がると、木々の梢に触れてしまい、最悪の場合は枝の上に乗ってしまう。そうなると、モーターに葉がからまってしまい、自力での飛行・回収は不可能になってしまう。やはり森の中では、あまり自由に飛行させることは難しい。



順番に離着陸を繰り返すうちに、操縦にもかなり慣れて、上空からの集合写真も撮れるようになった。